

第2回 天神川氾濫災害調査委員会 議事概要

1 日時 令和5年7月21日（金）9:30～11:10

2 場所 兵庫県民会館7F 亀

3 出席 大石委員長、神田委員、角松委員

4 委員からの意見等

（1）氾濫事象の再現について

- ・ 事務局から、資料1「1. 事実関係の整理」、「2. 再現計算」「3. 氾濫事象の再現」について説明した。
- ・ 仮締切堤が破堤に至った要因として「仮締切工の通水断面」「大型土のうの安定性」「河床部の遮水性」などの観点で検討することが示された。
- ・ 委員からは以下の意見があった。
 - ① 二次元流況解析は、上流越流部、下流端部の流向・流速が乱れているので、定常状態になるまで解析、または、時間毎の流量で収束するまで計算を繰り返して確認すること。
 - ② 計画断面のピーク水位における大型土のうの安定性について、次回委員会で提示すること。
 - ③ 破堤は、浸透破壊が要因のひとつであることについて、地盤の専門家の意見を確認すること。

（2）今後のスケジュール

- ・ 事務局から、資料1「4. 今後のスケジュール」について説明した。
- ・ 次回は8月7日(月)14時 県民会館7F 亀で開催する。